

明治大学未来サポーター募金

～活動報告書 2020～

2020年4月▶2021年3月



M
SUPPORTER

～ 明治大学未来サポーター募金にご協力いただき、誠にありがとうございます ～

これまでに明治大学未来サポーター募金に頂戴したご寄付の実績と、各資金における 2020 年度の活動結果をご報告いたします。皆様のご意思が大学の活動にどのように活用されたかを実感していただければ幸いです。今後とも末永く、本学のサポーターとしてご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

I 未来サポーター募金・実績

■ これまでの受付結果

過去3年及びこれまでの累計額は下表のとおりです。

	2018年度	2019年度	2020年度	累計
個人	3,178	3,115	3,243	9,536
	220,200,935	137,800,577	119,589,564	477,591,076
団体	61	57	56	174
	24,800,838	20,611,673	4,505,322	49,917,833
法人	85	28	13	126
	44,658,000	31,750,000	2,640,000	79,048,000
年度計	3,324	3,200	3,312	9,836
	289,659,773	190,162,250	126,734,886	606,556,909

上段が件数、下段が金額（円）

■ 顕彰制度の実施（一例）

「未来サポーター募金寄付者顕彰制度」は 2022 年 3 月 31 日受付分をもって終了し、「学校法人明治大学寄付者顕彰制度」に統合されます。

寄付者交流会

例年、開催しておりました寄付者交流会は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、開催を中止といたしました。一日も早く、多数の寄付者の方にお越しいただき、直接感謝の言葉をお伝えできる機会を設けることができますようお願いしております。



寄付者交流会の様子（過去年度）

感謝状の贈呈



未来サポーター募金に一定額以上*ご寄付いただいた方に感謝状を贈呈しております。

* 個人 50 万円（累計）、団体・法人 500 万円（累計）

Ⅱ 2020年度 未来サポーター募金 各資金別活用状況報告

～奨学サポート資金～ 一人でも多くの学生が安心して学業に取り組めるように

明治大学未来サポーター給費奨学生 90 人を採用

未来サポーター給費奨学生として奨学金を支給

明治大学給費奨学生のうち、家計収入が少なく、特に経済支援が必要な学生に対して、明治大学給費奨学金の給付額と、授業料年額 1/2 相当額との差額を奨学金として支給しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保護者の失職・収入減による経済困窮者が増加し、学生自身もアルバイト収入が減少するなど、厳しい家計状況が続いております。

学生の学びを求める気持ちに応えることが大学の使命として、今後も適切な資金計画の基に学生にとって有益な奨学金事業を推進してまいります。



感謝のことば

◆本奨学金受給学生からのメッセージ「感謝のことば」を寄付者の方にお送りしています。



今年度はオンデマンド形式で開催しました

～国際化サポート資金～ 明治から世界へ。世界から明治へ。

次の2つの国際化プログラムで資金を活用しました。

① 国際化サポート外国人留学生奨励金

本学に在籍する外国人留学生の学習奨励を目的として、成績優秀な外国人留学生 15 名に対し奨学金支給を行いました。

② 国際化サポート海外留学奨励金

国際化サポート海外留学奨励金として、オンライン留学プログラムを受講した学生計 26 名に対し、奨励金を支給しました。

～国際化サポート海外留学奨励金オンラインプログラム報告書の一部抜粋してご紹介いたします～

- ・バーチャルアクティビティへの参加等、授業時間以外の活動についてどのような経験を得ることができましたか？：授業前や授業後の時間に復習を行うことが3週間の本プログラムにより習慣化され、積極的に練習をし、スキルアップさせようというモチベーションにつながったと感じています。
- ・オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて：実際に現地を訪れることはできませんでしたが、それでもオンラインでのリアルタイム授業を充実して受けることができたと思います。インターネットの通信で途切れてしまうこともあり不便さを感じることもありました。日本にいながら英語づけの3週間を過ごし、以前と比べて英語力だけでなく、英語で話す際の気持ちの面でも力をつけることができたと感じています。春期休業時間を有効に活用して、先生方にしっかり指導していただきながらスキルアップに時間を使うことができ本当に良かったと思います。またオンライン方式で行ったことや国際化サポート海外留学奨励金により金額が大きなハードルとならずに集中することができました。



オンライン留学のイメージ

国際日本学部1年（当時）

～研究サポート資金～ 最先端の研究を「明治」から

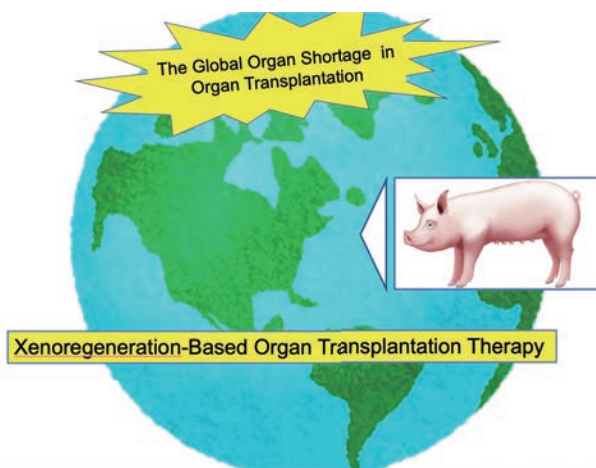
次の研究プロジェクトで資金を活用しました。

① バイオリソース研究国際インスティテュート (MUIBR: 所長=長嶋比呂志・農学部専任教授) の学外研究拠点の整備・維持費

◆基礎研究と臨床現場とをつなぐ「橋渡し研究」の世界的拠点形成を目指しています

移植医療における臓器不足の解消、癌や糖尿病といった難病の克服等、医療が抱える課題 (unmet medical needs) に対し、MUIBR は生命科学の立場から解決策を提供します。遺伝子改変ブタやクローンブタの作出といった独自の技術を強みとして、基礎研究の成果を臨床応用に繋げるトランスレーショナル・リサーチ（橋渡し研究）の領域で、世界をリードしています。2020年度には、Springer Nature 社のオンラインイベント「Life science: amazing professors at Meiji University in Tokyo」を通じて、研究成果を世界に発信しました。

皆様から頂戴した寄付金は、これらの活動を推進するための学外研究拠点の整備・維持費として活用させていただきました。今後も課題の解決に向け、世界の先駆けとなる研究成果の発信を続けていきます。



長嶋所長（上）による
Nature Research Webcast
での世界への情報発信（左）

② 令和2年度科学研究費助成事業「独立基盤形成支援」採択に伴う研究活動推進経費(加藤雅彦 農学部専任准教授)

私は土壌を対象に研究を行っています。土壌学の大きな目標のひとつは、農業生産と環境保持を両立させることです。わかりやすく言いますと、おいしい農産物をたくさん生産しながら、土壌系外へ環境負荷をかけないようにすることです。いずれも圃場レベルで目に観える形で達成させる必要があります。圃場レベルで、というと、肥料を土壌に施肥して作物生育を観察する、ということの思い浮かべるかもしれません。圃場レベルの成果を得るためには、目に観えないマイクロレベルにおける研究が重要です。土壌中のマイクロレベルでの小さな反応の積み重ねが圃場レベルの結果に反映されます。換言すれば、マイクロレベルの小さな反応を明らかにすることが圃場レベルでの目で観える成果の一助となります。

皆様から頂戴した寄付金は、デジタルマイクロスコープ購入に活用させていただきました。この機器の導入で土壌風化に伴う表面構造変質をマイクロレベルで観察できるようになりました。表面構造変質に伴って土壌からの重金属類の流出挙動がどのように変化するか研究しています。今後も農業生産と環境保持の両立に向けて研究成果を世界発信するとともに社会還元していきます。



(上) 加藤准教授
(下) 購入したデジタル
マイクロスコープ



～スポーツサポート資金～ トップアスリートの育成を目指して

次の8部及び体育会全般で資金を活用しました。詳細は、明治大学募金 HP に掲載しております。

端艇部

活動内容：イタリア製新艇購入、ドイツ製新艇購入



柔道部

活動内容：奨学金支給（柔道部内規）



射撃部

活動内容：スモールポアライフル・エアライフルの弾薬の購入



ラグビー部

活動内容：奨学金支給（ラグビー部内規）ウエイトトレーニング器具購入



スキー部

活動内容：部車の維持管理・連盟年会費・スポーツ安全保険料・タイミックス（計測機器）購入・オンライントレーニング



ハンドボール部

活動内容：ゲームユニフォームの購入



ヨット部

活動内容：レース艇輸送



自転車部

活動内容：ディスクホイール購入・ホイール購入



体育会各部の成績・大会スケジュールは、「明治大学スポーツ ホームページ」及び「MEIJI NOW」でご覧いただけます。

または



アマビエめいじろう
～皆さまのご健康と新型コロナウイルス感染症の収束を願って～

～キャンパス整備サポート資金～ 学びの場のさらなる充実のため

本学の長期ビジョン（世界へー国際人の育成と交流のための拠点 世界で活躍する強く輝く「個」を育てる教育研究の実現）の実現を具体化するため策定した明治大学中期計画第2期（2018～2021年度）及び2020年度予算をもとに、15号館跡地の広場整備に係る工事に一部充当いたしました。

キャンパス整備サポート資金を活用することにより、快適で安全な教育・研究活動環境の提供に繋がっております。

なお、未充当のものについては、引き続き明治大学中期計画第2期（2018～2021年度）によって計画・実施される事業のために積み立てさせていただきます。



【明大スクエア：15号館跡地の広場整備後の様子】

■ 明治大学創立140周年記念事業募金

目的 創立140周年記念事業（和泉キャンパス新教育棟（仮称）建設ほか）

募集期間 2019年4月～2022年3月

受付金額 個人：一口1万円

法人・団体：一口の金額は特に定めておりません。

※一口以上何口でも結構です。一口1万円未満のご寄付でもありがたくお受けいたします。

■ 学生・教育活動緊急支援資金

目的 感染症の流行、災害の発生等不測の事態による被害に備えるとともに、その被害を受けた学生の支援及び本大学の教育活動を維持するための支援を行うことを用途とします。

募集期間 特に設定いたしません

受付金額 個人：一口1万円

※ 困窮する学生に、より多くの支援を届け、修学の機会を守るため、より多くのご支援をお願いいたします。

※ 一口単位以外のご寄付も、学生へのご厚意としてありがたくお受けいたします。

学校法人明治大学 大学支援事務室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 大学会館3階

TEL 03-3296-4057・4059

E-mail bokin@mics.meiji.ac.jp



2021.夏